

子どもの貧困予防支援システム

—孤立する子どもとどのように出会い
—どうしたら継続した関わりを持てるのか—

10月23日(日)午後1時～4時

講師 幸重社会福祉士事務所代表

幸重 忠孝氏

滋賀県スクールソーシャルワーカースーパーバイザー



NPO法人山科醍醐こどものひろばでは、子どもの貧困対策のための子どもの生活支援センターを2010年より開始。2012年関西圏のスクールソーシャルワーカーらと自主的な勉強会組織SSW-NETの立ち上げにかかわる。独立型社会福祉士として子ども家庭福祉にかかわる相談を受けながら、子どもの貧困に関する理解を広げるため講演活動を活発に行う。平成26年内閣府子どもの貧困対策に関する検討会にて子どもの居場所づくり、学校現場への「子どもの貧困」の視点を入れることなどを提言。さらに、学校で行う食の支援などスクールソーシャルワークのマクロ実践も行う。

こんな方に

コミュニティ・ソーシャルワーカー (CSW)
 スクールソーシャルワーカー (SSW)
 子ども家庭支援センター職員
 社会的養護関係施設職員
 児童相談所職員
 児童福祉・教育分野に関わる方

定員 30名

参加費 無料

申し込み → 詳細は裏面

会場 清瀬市アミュビル 4階会議室1.2

私たちは、地域にいる支援が必要な子どもたちすべてに手を差し伸べることができているのでしょうか。様々な問題状況下の子どもが、高校中退、引きこもり、不安定就労、JKビジネス、風俗、ホームレス等のリスクを負い、現に存在しています。しかしながら、施設、SSW、子ども家庭に関わるソーシャルワーカーらが制度内の枠組みにおいて行う支援も限界があります。
 本セミナーが、現状を変革するブレークスルーの機会となるよう企画いたしました。



主催 社会福祉法人子供の家 あすなる荘
 共催 清瀬・東久留米社会福祉士会 (予定)、清瀬市社会福祉協議会 (予定)

問合せ 070-5586-5393 (福本麻紀)

セミナー申し込み

下記内容をファックス、メールにてお申し込みください

FAX あすなろ荘 042-492-8348 mail asunaro-sou@ma.point.ne.jp

氏名

所属

連絡先（電話あるいはメール）

その他

今年度あすなろ荘では、WAMの助成を受け下記の事業を行います。

地域包括型子どもの貧困予防事業概要

